

走る動き

楽しく体を動かして、苦手な運動を得意にしよう

# 子ども運動 チャレンジ教室

跳ぶ動き

投げる動き

多様な動き

1 体育の授業や運動への苦手意識の克服！

2 運動遊びを通して身体活動の楽しさを感じる

3 走・跳・投運動や多様な動きなどの基本の運動のレベルアップ

**プログラム** ★心と体をほぐすアイスブレイクゲーム  
★走・跳・投運動、多様な動きなど  
基礎的な運動能力の向上タイム  
★みんなで楽しむ運動遊び大会

**講師**

鈴木 康介(日本体育大学) 田島 宏一(昭和女子大学)  
奥村 拓朗(東洋大学) 春日 晃章(岐阜大学)  
小椋 優作(中部学院大学短期大学部) 大坪 健太(岐阜協立大学)  
塚本 将太(中部学院大学) 北澤 陽奈子(日本体育大学)

**会場**

SUBARU 総合スポーツセンター メインアリーナ  
東京都三鷹市新川6丁目37-1

**対象**

下記①～②の条件に**全て当てはまる児童**を募集します。

① 小学3・4年生(三鷹市在住・在学)

② 運動に苦手意識があり、体育や運動遊びが得意ではない児童

※ 運動が苦手な児童向けのプログラムのため、得意な方は参加をお控えください。

**定員**

70名(申込多数の場合は抽選)

**受講料**

無料

**申込期間**

参加対象・裏面の注意事項をご確認のうえ、申込ページのQRコードを  
読み込み、必要事項を入力してお申し込みください。

7月1日(火)9:00～7月20日(日)23:59まで

受付はホームページのみ

⇒抽選結果および当日のご案内は7月中にメールにて通知いたします。

大学生がペアになって  
マンツーマンでサポートします  
安心して参加してください



申込ページ

この事業は公益財団法人ライフスポーツ財団の子ども活動支援金の助成を受けて運営しています。

**主催**

三鷹市(スポーツ推進課所管)

**共催**

日本体育大学社会連携センター

**お問い合わせ**

日本体育大学 児童スポーツ教育学部 准教授 鈴木 康介

メールアドレス: shakaikouken@nittai.ac.jp

緊急連絡先: suzuki-kosuke@nittai.ac.jp

# 子ども運動チャレンジ教室

## 指導者紹介



鈴木 康介  
【日本体育大学】  
児童スポーツ教育学部 准教授  
博士(スポーツ科学)  
体育科教育



田島 宏一  
【昭和女子大学】  
人間社会学部 講師  
修士(教育学)  
体育科教育



奥村 拓朗  
【東洋大学】  
健康スポーツ科学部 助教  
博士(体育科学)  
体育科教育学



春日 晃章  
【岐阜大学】  
教育学部 教授  
博士(医学)  
発達発達



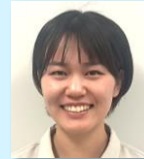
小椋 優作  
【中部学院大学】  
短期大学部 講師  
博士(経営情報科学)  
測定評価



大坪 健太  
【岐阜協立大学】  
経営学部 講師  
博士(学校教育学)  
体育科教育学



塚本 将太  
【中部学院大学】  
スポーツ健康学部 助教  
教育修士(専門職)  
測定評価



北澤 陽奈子  
【日本体育大学】  
児童スポーツ教育学部 助教  
修士(教育学)  
体育科教育



各大学で学ぶ教育・体育・スポーツ専門の大学生・大学院生約70名

## 注意事項

### 服装

- ・運動服上下（学校の体操服でもOK）

### 持ち物

- ・**体育館用室内シューズ**、昼食（弁当等）、水筒、タオル  
※室内シューズの靴底はアメ色（ゴム色）、白色、または無地をお願いします。

### その他

- ・参加当日に体調不良や平熱を超える体温がある場合には、参加をお控えください。
- ・活動中は主催側の指示に従ってください。
- ・当日、新聞等メディアの取材がある可能性がありますので、予めご了承ください。
- ・当日は指導記録や活動報告のため、主催者側で写真や動画を撮影しますので、ご了承ください。
- ・保護者の方の観覧も可能です。

## 参加者の声

### 先生方のアドバイスが参考になった

（本人より）大学生のお兄さん、お姉さんが優しくった。先生方のアドバイスが参考になった。新しくできた友達と一緒にスポーツができて、楽しかった。

### 今までのフォームとは格段に変わった

今まで身体の使い方が分からなかった為、思うように身体が動かせず運動に対して苦手意識があったのですが、どの種目も今までのフォームとは格段に変わり、本人もできたことに対する喜びで運動することを楽しく感じている様子でした。講座の間ずっと笑顔で楽しそうにしている、講座後もまた走りたい！運動したい！と言って、本当に参加できてよかったなと思いました。普段接する機会のない大学生のお兄さんお姉さんから指導してもらおうという点も、すんなり指導を受け入れられた理由だと思います。

### 「楽しかったー！」が一番最初に聞いた

大学生がマンツーマンで休む時もご飯の時もずっと一緒に付き合ってくれるというのが本人はとても嬉しかったようで、精神的にも支えになってくれたのだと思います。プログラムの内容は、紙鉄砲やゴム跳びなど、身近で公園などでも再現出来るものもあり、試してみたいと思えることがたくさんありました。上手に出来ても出来なくても拍手して励ましたり、みんなで応援したり、常に盛り上げる雰囲気もとても素敵に感じました。参加した後、子どもの「楽しかったー！」が一番最初に聞いたのが嬉しかったです。

### 体育の苦手意識が減った

本人は参加直前まで行きたくないと暗い顔をしていましたが、大学生のお姉さんが優しくしてくれてすぐにうちとけ、楽しく楽しかった！また行きたい！と凄く喜び、非常に体育に苦手意識のある子でしたが、とても楽しく過ごせました。体育の苦手意識も少し減ったようで、家に帰ってすぐに「ボールを新しく買って！」とねだられ、キャッチボールをしました。

### 子供達をよくわかっているなあと感じ

コーチの先生や大学生のテンションの高さ、声の大きさ、音楽、次々と新しい種目を用意してくださる機敏な動き、とにかく楽しもうという雰囲気すべて、子供達をよくわかっているなあと感じ。または是非参加させていたきたいです。

### 担当のお兄さんのフォロー

着いてすぐ担当の大学生のお兄さんが笑顔で駆け寄り終始面倒をみてくれました！初めての場所で、この人が今日一日自分を担当してくれるという安心感は息子にとって大きかったと思う。講師の走り方等の指導もゆっくり的確に何度も繰り返し教えてくださり、担当のお兄さんのフォローも加わって、大変有意義でした。